

「ありがとう」を言おう！ 「感謝の気持ち」を伝えよう！

以前にも1度言いましたが、私、36年前、29歳の時に死にかけています。が、云わば奇跡的な事の連続で九死に一生を得、お蔭様で現在に至っております。今回は、その危ない状況の時に、半ば朦朧とした意識の中で思った、「ありがとう」や「感謝の気持ち」の意味について書いてみたいと思います。

その時に思い考えたこと

その、命を落としかけた時の状況については、以前に、この「エステ B プラン」vol.20「言葉を紡いで相手に伝えよう～世の中は優しくできている」に書きましたので、その部分を抜粋してみます。

(以下、抜粋)

私には、もうこれからは、自分の思いを誰にも伝えられなくなる寸前というのがありました。それは29歳の時で、まだ独身のときでした。

ある仕事で鹿児島へ出張中に、劇症肝炎という病気を発病しまして、状態が酷く、イッキに危篤状態まで行ってしまいました。家族はじめ関係者は全員、鹿児島に呼ばれ、全く予断を許さない状態だったのです。

10日間くらい、すごい高熱が続き生死の間をさまよっていました。意識は多少あるのですが、ほぼ朦朧とした状態です。三途の川の夢も二晩続けて見ました。

そして、いろいろ経緯はありましたが、結局、その時の主治医の先生が、今まで日本で前例は無いけれど思いついた治療方法があると言って、その方法を施していただき、それがピタリと当たって九死に一生を得ることができました。助かる可能性は数パーセントと言われていたのが、何と奇跡的に助かったのです。

そしてお蔭様で今も元気に仕事をさせていただいております。もう、この一連のことには、今も感謝以外の何ものでもありません！

ありがたいことです。

そしてじつは、その危篤状態で意識が朦朧としていた中で、ずっと思っていたことがあったのです。

自分で後で考えてもビックリしたのですが、それは“もし良くなってカラダが回復すれば、あれをやりたい、これをやりたい”というような類のことでは全くありませんでした。

じつはずっと思いつけていたのは、“両親に今までの感謝の言葉を伝えていなかった”、“お世話になったあの人にお礼の言葉を伝えてなかった”、“今まで関わりのあった人にありがとうを言い足りてなかった”、“謝らないといけない人にごめんなさいを伝えてなかった”、こんな風なことばかりが頭の中をグルグルと駆け巡っていました。

これには、ちょっとビックリしてしまいました。人は死に直面すると、こういうことを考えるものなのかもしれません。そして、ひょっとしたら、それがとても大切なことなのかもしれません。それが、生きるということなのかもしれません。生きるということは、人生の道でいろいろなことを経験して、人に

感謝の気持ちを伝えることだとか、人にありがとうを伝えることだとか、その他いろいろな思いを伝えるということなのかもしれません。

私の場合は、幸い何とか生き延びることができましたが、もしあそこで命を落としていたら、もう自分の言葉を誰にも伝えることはできなかったのです。そこから先は、大切な人に自分の思いを伝えることは、全くできなかったのです。

そうなのです、誰もが、ひょっとしたら明日突然、何も思いを伝えることができなくなる可能性があるのです。

(抜粋、以上)

三途の川を渡りかけた途中で、「あっ、俺、忘れ物した。やっぱり帰る」と言って、引き返して来て、こちら側の岸に着くと夢から覚めるという経験を二晩続けてして、「俺、ひょっとしたら助かるかもしれん」と少しは思うことはできたのですが、その時の朦朧とした意識の中でも、本当に強く思ったのは、“まだ、感謝の気持ちを伝えることができている人たちがいっぱいいる”ということでした。

“両親に感謝の気持ちを伝えていない、お世話になった人にお礼の言葉を言えていない、関わりのあった人にありがとうを言えていない、謝らないといけない人にごめんなさいを言えていない”、思うのはこんなことばかりでした。

“死ぬまでに、あんな事をおきたかった、こんな事をおきたかった。もし良くなったら、あんな事をしたい、こんな事をしたい”、そういう思いは一切浮かんで来なかったです。これには、ビックリしてしまいました。

死に直面すると、“今までに関わりのあった人に感謝の気持ちを伝えたい、まだまだ本当に伝え切れていない”、そのことばかりを思い考えるということに本当にビックリしてしまいました。

その時に、“人は、ひょっとしたら、そのようなことを人に言い、伝えるために生きているのかもしれない”、と思い感じてしまいました。

スティーブ・ジョブズ 最後の言葉

アップルの創始者としてあまりにも有名な、スティーブ・ジョブズは56歳でこの世を去りましたが、彼の死ぬ間際の最後の言葉として、ネット上で出回っているものがあります。真偽のほどは確かではないらしいのですが、いろいろなところに掲載されているので、皆さんもご存知かもしれません。

引用してみますと…

「私は、ビジネスの世界で成功の頂点に君臨した。他の人の目

には、私の人生は成功の典型的な縮図に見えるだろう。しかし、今思えば、仕事を除くと喜びが少ない人生だった。人生の終わりには、お金と富など、私が積み上げてきた人生の単なる事実でしかない。病気でベッドに寝ていると、人生が走馬灯のように思い出される。

私がずっとプライドを持っていたこと、認証(認められること)や富は、迫る死を目の前にして色あせていき、何も意味をなさなくなっている。…(中略)…今、やっと理解したことがある。人生において十分にやっていけるだけの富を積み上げた後は、富とは関係のない他のことを追い求めた方が良い。

もっと大切な何か他のこと。それは、人間関係や、芸術や、または若い頃からの夢かもしれない。終わりを知らない富の追求は、人を歪ませてしまう。私のようにね。

神は、誰も心の中心に、富によってもたらされた幻想ではなく、愛を感じさせるための「感覚」というものを与えて下さった。

私が勝ち得た富は、私が死ぬ時に一緒に持っていけるものではない。

私があの世界に持っていける物は、愛情にあふれた思い出だけだ。これこそが、本当の豊かさであり、あなたとずっと一緒にいてくれるもの、あなたに力を与えてくれるもの、あなたの道を照らしてくれるものだ。

愛とは、何千マイルも超えて旅をする。人生には限界はない。行きたいところに行きなさい。望むところまで高峰を登りなさい。

全てはあなたの心の中にある、全てはあなたの手の中にあるのだから。…(中略)…

あなたの人生がどのようなステージにあったとしても、誰もがいつか、人生の幕を閉じる日がやってくる。

あなたの家族のために愛情を大切にしてください。あなたのパートナーのために。あなたの友人のために。

そして自分を丁寧に扱ってあげてください。他の人を大切にしてください。」

スティーブ・ジョブズは変人として知られていますし、これは彼が言ったものかどうか確かではないらしいのですが、何か共感できます。スゴク、共感できます！

幸せの定義

人は、日々、幸せを追い求めて生きているはずですが、もっと幸せになりたいと思って生きているはずですが。

ただ、よく言われることですが、こうなれば必ず幸せだという定義なんてものは、ないですよ。そんなもの、どこにもないですね。年収が1億円あれば幸せで、それ以下だと幸せではない。そんなことは、あり得ないですね。

当たり前ですが、人の幸せは人それぞれ。一人々々、幸せというものは、その人によって違いますね。

思うに、その人自身の幸せというのは、自分自身がどれだけ幸せを感じることができるか、ではないかと思えます。

ですから、幸せをいっぱい感じ、増やして行くことが、その人の幸せへの近道になるのではないのでしょうか。

それでは、「幸せ感への近道」というものがあるんでしょうか。これも、もう人それぞれだと思いますが、私の思う「幸せ感への近道」というのは、例えば、次のようなものです。(…あくまで私の考えですけど…)

…事業、仕事においては、自分の持てるものを全部出す、持っている能力や思いを全部出す、出し惜しみをしない。

そうして、お客様だとか関わりのある方のお役に立ち、喜んでいただき、お金も稼がせていただければ、もうスゴク嬉しいことですね。

人との関係も、変な駆け引きをしようとするヤツ等、変な手練手管を使おうとするヤツ等、等々、イヤなヤツ達との関係は絶って、本当に気の合う人達、気の合う仲間、と仕事をしたり、遊んだりするのは、とても楽しく、居心地がいいですね。

そして、自分を大切にし、家族、パートナー、友人、そして関わりのある人を大切にしていけば、自分に愛情を感じることができるし、まわりの皆んなにも愛情を感じることができるでしょう。…

なかなか、全部は、言うほど簡単には行かないでしょうが、こういったことが、「幸せ感への近道」に繋がって行くのではないのでしょうか。

生きていると、毎日、いろいろなことがあります。…辛イこと、腹の立つこと、泣きそうになること、辛いこと、苦しいこと、また逆に、楽しいこと、嬉しいこと、気分を高揚させてくれること、等々…いろいろなことがありますね。

そんな中でも…毎日、懸命に生きている中でも…自分を大切に思い、そして、まわりの人を大切に思い、なるべく多くの「ありがとう」を言うことができ、なるべくたくさんの「感謝の気持ち」を伝えることができ行ければいいですね！

皆様の益々のご発展をお祈り致します！



ZaiSapo
ザイサポ
株式会社財務サポートコンサルティング
代表取締役
片上 智英 (カタカミ トモヒト)

TEL 050-1523-1621
E-mail zaisapo55@ybb.ne.jp
HP <http://zaisapo.jp>

プロフィール
国立大学を卒業後、出版・広告関係の企業へ就職。主に営業・マーケティングを担当。その後、出版販売の会社へ転職。拠点マネージャーとして社員採用・育成指導等、拠点運営を20年余り担当。後、(株)財務サポートコンサルティングを設立、現在に至る。医療関係・美容関係・飲食関係を中心にコンサルティング実績多数。また、大手通販会社と提携し、通販システム・ノウハウ提供のコンサルティングも現在展開中。